

(資料1 第3回日本生物教育大会に出品した作品)

天覧を賜ふ神戸市白川産化石標本 (神戸層群植物化石)

前田 米太郎

前田米太郎先生は、昭和22年頃から神戸市須磨区白川付近で化石を採集され、その標本は神戸市垂水区の愛徳学園生物教室に寄贈されています。

この中には、昭和23年(1948年)第3回日本生物教育大会に出品し、昭和天皇もご覧になった化石が含まれています。長径23cmのシュロの葉の化石などです。

前田先生は、県立高校退職後、平成7年4月から同18年3月まで愛徳学園中学校・高等学校に勤め、サイエンス部も指導されました。その縁で寄贈されている化石を、平成17年(2005年)の学園祭にサイエンス部が展示公開するために、当時の部員、中学2年の吉田伊織さん他1名と中学1年(現在高校3年)の柴田真生さん、藤本早帆さん、他1名が化石図鑑を駆使して標本箱に整理しました。

前田先生は、兵庫県で2回目の開催となる日本生物教育会第65回全国大会への化石標本の出品の話を大変喜ばれ楽しみにしておられましたが、本年(平成22年)5月20日に急逝されました。ご冥福をお祈りします。8月4日の日本生物教育会第65回全国大会兵庫大会では、愛徳学園の許可を得て化石を再度展示いたします。

文責：宇那木 隆

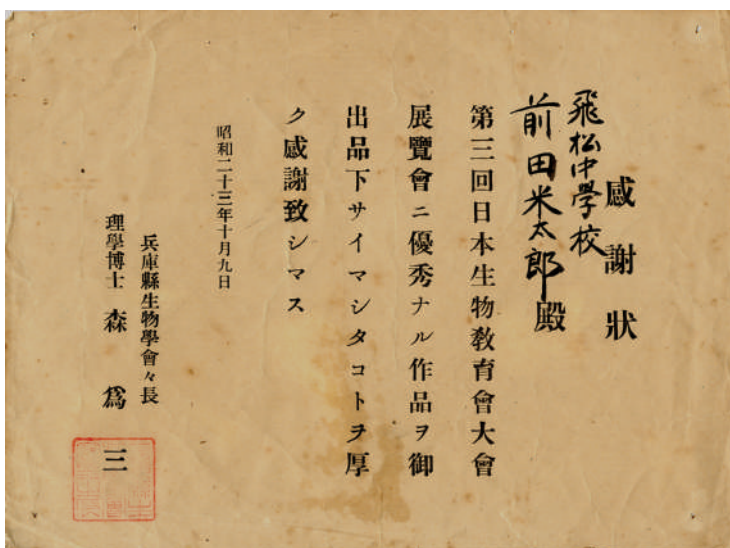


図1 感謝状 (16cm×21.5cm)

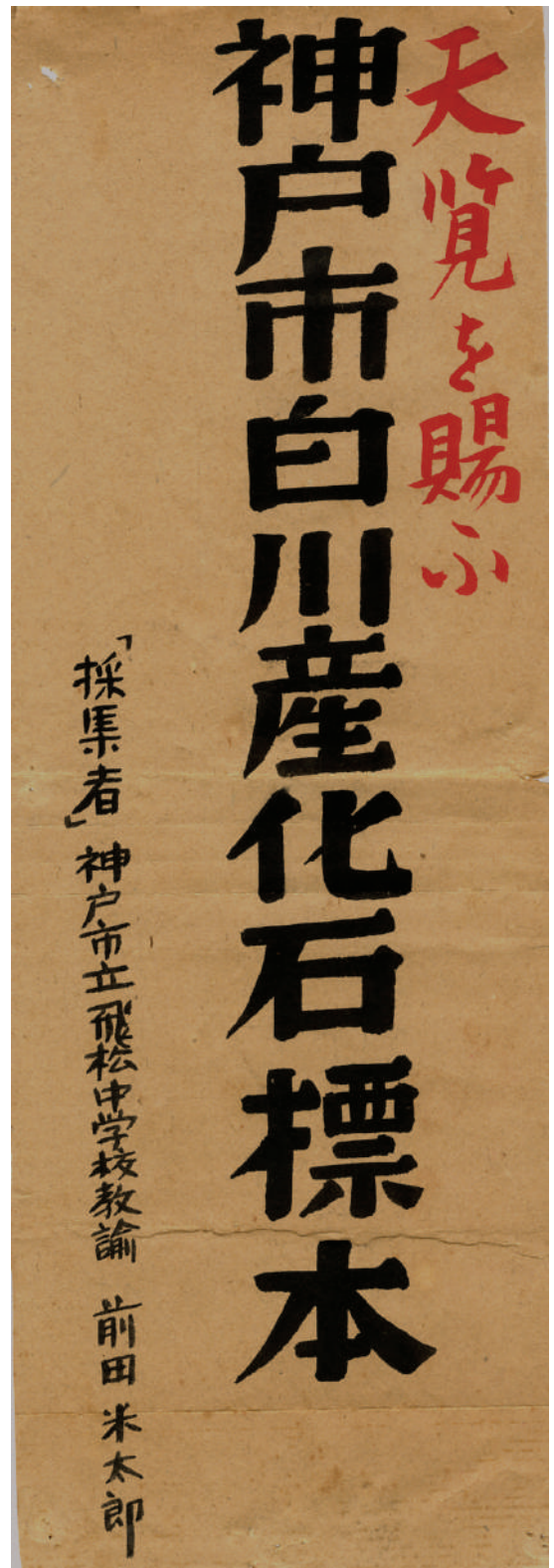


図2 紙製の看板 (12cm×35.5cm)

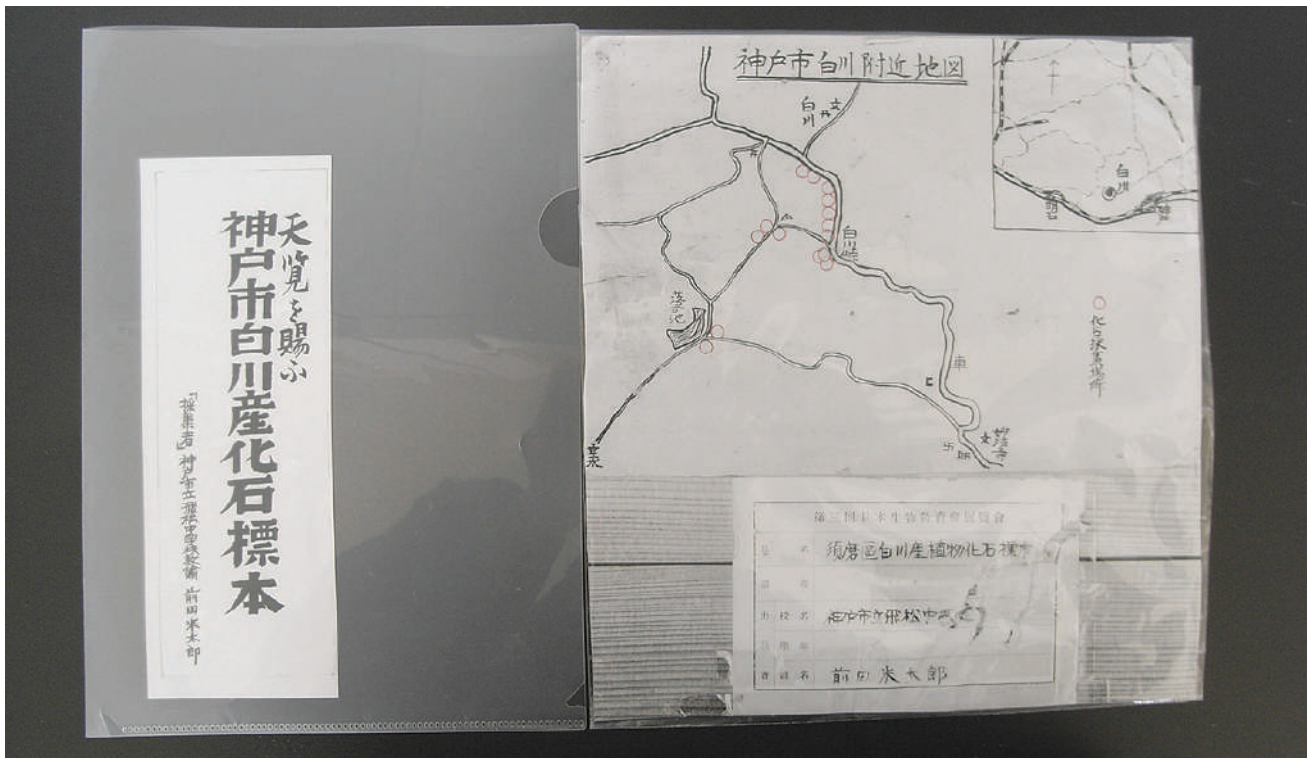


図3 紙製の看板と前田氏作成の昭和22年頃の神戸市白川の地図

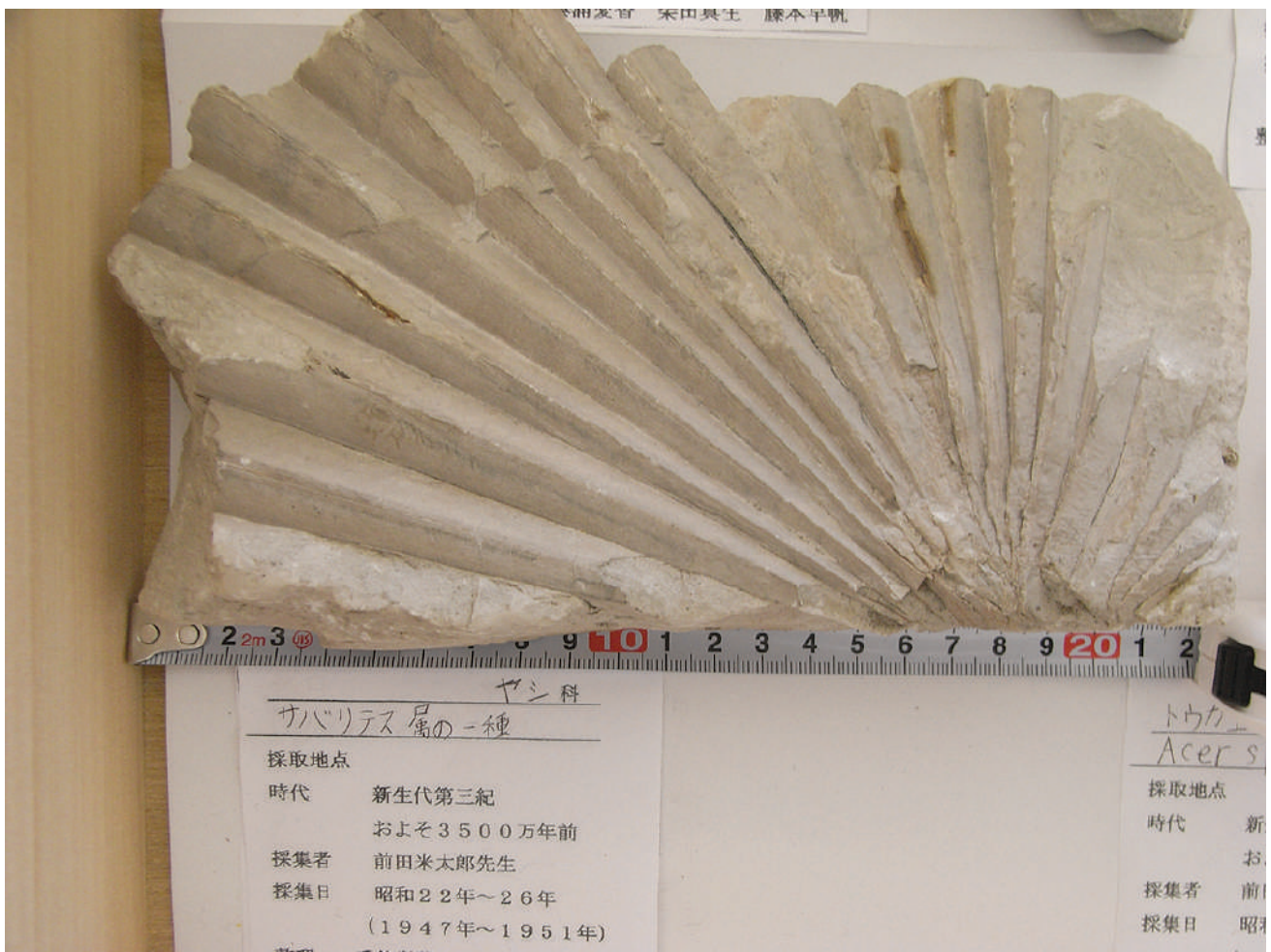


図4 神戸市白川産シュロの葉の化石（長径23cm）



図5 愛徳学園の生物教室

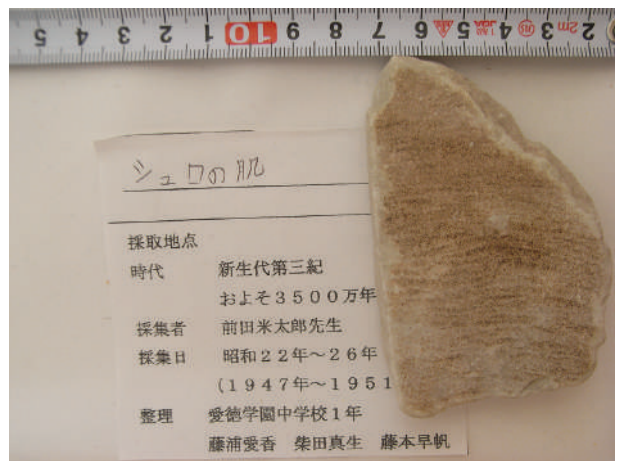


図6 シュロの化石



写真7 化石標本箱1



写真8 化石標本箱2

